

2021 年度 大阪夕陽丘学園高等学校事業計画
組織改革の徹底（2019 年度方針の強化）

1. 行政による教育改革への対応

①令和の日本型学校教育構築

- ・調査・研究

②高大接続改革

- ・既に締結している高大連携（教育提携）の内容の精査と新規連携先の開発
- ・高大接続における入試改革への対策を講じる

③普通科再編

- ・現行のコース制度を踏まえて、特色ある学科編成の可能性を検討する

④Society5.0 を基盤とする学校教育 Ver. 3.0

- ・急激な情報化・国際化社会に対応できる教育活動の研究と教育課程の編纂

⑤学習指導要領改訂

- ・カリキュラムマネジメント・授業方法の改革・評価法の検討・立案

2. 大阪夕陽丘学園高等学校の教育改革

①短高接続改革

- ・短高接続教育支援センターの設置
- ・5 年学修制の立案（短高協働による教育課程編成）
- ・短高協働の学習活動（授業・行事等）の立案

②グローバル教育

- ・国際教育推進のための部署検討
- ・IFU 等との海外教育機関との連携による正規留学を含む教育活動の検討・立案

③GIGA スクール及び IR への対応

- ・ICT, IoT の効果的な活用をめざす。Classi および office365 の効果的な運用法を開発する
- ・生徒情報及び教育改革関連情報を収集・整理し、教職員間で効果的に活用できる体制を検討する

④協働時代における機能的組織作り

- ・教職協働体制の推進のための策定を行う

3. 教学面における改革推進

①学習ビジョンの設定

- ・授業実践の検証と教師間の共有
- ・授業成果の生徒・保護者・学外への浸透策の検討

- ・ビジョンに基づく生徒育成の成果の可視化
 - ②全人教育
 - ・建学の精神に基づく人格形成のための教育活動の実践
 - ・教務規定および生徒指導規定の見直し
 - ③スクールポリシーの策定
 - ・アドミッション、カリキュラム、デュプロマにおけるポリシーの策定
 - ④授業改革
 - ・自主的な学び、深い学び、対話のある学びを実現する授業の計画と実践
 - ⑤個別最適化の検討
 - ・ipad、Classi 等の有効利用と反転学習等の手法の検討と実践
 - ⑤教師力の向上
 - ・教員における組織的な FD/SD 研修の検討と実践
 - ⑥コース制の強化
 - ・学年制の廃止を検討し、進路別に編成されているコース制の強化を検討する
- 4. 入学者の確保と転退学者の減少
 - ①入学から卒業までの生徒支援の充実（生徒・保護者の満足度の向上）
 - ・生徒情報の収集と適正な管理および共有の強化策の検討（IR センターの設置検討）
 - ・多様化する生徒への対応を検討する
 - ②入試広報活動の強化
 - ・塾対策の強化と、中学校教員へのアピール強化策の検討
 - ・PTA、同窓会との連携強化
- 5. 他教育機関との連携
 - ①他高等学校（生徒募集において競合しない）との教育提携
 - ・コンソーシアムの教育提携を行い、単独では対応しきれない教育問題に対応する
 - ・学校間協働を推進することで、新しい学校教育の開発を推進する